

# 令和4年度 秋田商業高等学校 キャリア教育全体計画



「凡事徹底」を積み重ね、たくましい自分を創る

## ○教育目標

- (1) 後期中等教育段階として求められる一般的な教養と教科商業が求める専門的な知識、技術及び技能を習得させる。
- (2) 建学の精神である「感謝」「勤勉」「鍛錬」の意味を具現化させながら、豊かな人間性、創造性、健やかな身体を養い、志と使命感を育む。
- (3) 社会事象についての広く深い理解と健全な判断力を養う。

## ○今年度の重点目標

- (1) 生命を尊重する心や他者を思いやる広い心を培うとともに、挨拶や礼儀を重んじ、心身の鍛錬に励み、心身ともに健全で人間性豊かな生徒の育成に努める。
- (2) 秋商キャリア教育の実践を通して、幅広い教養と確かな学力の向上を図り、生徒一人一人の進路実現の達成に努める。

## ○キャリア教育の目標

本校での3年間で、様々な学習・経験を通して、社会的・職業的に自立するために必要となる能力や態度を育む。

## ○各学年の重点目標

1年	(1) 基本的な生活習慣と礼儀を身につけ、集団生活を通して規範意識や社会性を伸ばす。 (2) 基礎学力を定着させ、進路志望実現に向けて主体的に学習する姿勢をもち続ける。 (3) キャリア教育を通して、卒業後の見通しをもって学ぶ姿勢を身につける。
2年	(1) 良好な生活習慣に基づいた健全な集団生活を通し、社会性を養う。 (2) 進路選択を見据えた学力向上に努めるとともに、資格を取得する。 (3) 進路志望実現のため進路研究に努め、主体的に学習し活動する。
3年	(1) 学力を向上させ、上位資格の取得を目指す。 (2) 社会で求められている人物像を理解し、行動する。 (3) 自分の可能性を引き出し、最適な進路を実現する。

## ○目指す生徒像

- 「秋商スタンダード」の定着
- ★全員が「生活習慣」「基礎学力」を身に付ける。
    - ①秋商生としての誇りを忘れず、心身ともに健全で品位ある生活をする。
    - ②挨拶を大切にし、明朗闊達に生活する。
  - ★全員が資格取得に挑戦し、進路実現に活かす
    - ①自己実現のために必要な資格を自ら自覚し、取得に向けて積極的に取り組む。
    - ②コースの特性を活かした資格を計画的に取得する。

## ○部活動を通して育成したい能力

- ★先輩や後輩と同じ目標に向かって行動することで、自分の役割を理解し、協力・協調することができる。
- ★技術を磨き、自己を探究・表現することで、向上心を育む。また、成功や失敗を体験することで、今後の目標を自分で定め、困難を克服していく忍耐力を養う。
- ★生涯にわたって「働く」ための行動力を身に付け、スポーツや文化・芸術を通し、社会貢献及び社会形成に積極的に参加しようとする態度を身につける。

## ○秋商で身に付けるべき力と基礎的・汎用的能力について

	【A】人間関係・社会形成能力	【B】自己理解・自己管理能力	【C】課題解決能力	【D】キャリアプランニング能力
国語科	他者の意見を読み聞きして的確に理解し、自らの考えを明らかにして適切に表現し、伝える力を育てる。	意見を発表し合い相互に評価することにより、自分と他者の立場や価値を見出せる。	自学習習慣を確立し、予習によって課題を発見し、授業において分析・解決し復習によって知識・理解の定着を図る。	よりよい社会生活を営むために、本や新聞を読む習慣を身につける。また、情報を取捨選択し、活用する力を育てる。
地歴公民科	わが国と多様な世界の歴史的過程を学び、良識ある社会人としての基本的な知識を身につけることで、「多様な立場の人間を理解し協働して社会を形成していく能力」を育成する。		資料を読み取り、原因-結果を探究する歴史的思考力を培うことで、「主体的な課題解決能力」を身に付けさせる。	優れた先人の業績を学ぶことで、困難を乗り越える「生きる力」を身に付けさせる。
数学科	数学的な考え方や知識を通して、数学を活用して社会をよりよく生きる知恵を育成する。自らの考えや判断の前提を明確にし、根拠を示しながら説明できる力を身に付けさせる。		数学を学ぶことを通して、将来の学習や生活に数学を積極的に活用できるようにするとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるように努め、課題解決能力を身に付けさせる。	
理科	自然の事物や現象についての学習を通して科学的な自然観を身に付け、日常生活や社会との関わりを理解するとともに、人間の存在や自己の在り方についての深化を図る。		グループ学習による実験や観察を通してコミュニケーション能力を高めるとともに、自然に対する関心や探究心を高め、課題解決能力の向上を図る。	
保健体育科	武道を通して礼儀作法や相手を尊重する態度を育てるとともに、球技ではチーム・集団における自分の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームをしようとする姿勢を身に付けさせる。		自分の学習活動を振り返り、課題や成果について自己評価を行い、新しい課題に向かって学習しようとする課題解決能力と探究心を育てる。	
芸術科	演奏や作品制作の活動を通して自己表現の能力を高め、他者とコミュニケーションをとりながら活動する態度を身に付けさせる。	さまざまなジャンルの音楽および書道の作品に触れることで、日本の芸術の歴史的価値を理解するとともに、他の国々の芸術文化を感受し、理解を深める態度を養う。		
英語科	身近な事柄について英語でコミュニケーションを図る力を身に付けさせる。	英語で自己表現することを通して自己理解を深め、主体的、積極的に行動する態度を養う。	英語学習を通して国や文化の異なる人々とも積極的に交流し意見を交わす態度を養うとともに、グローバル化が進み複雑に状況が変化していく中で情報を適切に取捨選択する能力を養う。	
家庭科	一生を通じて自分が他者と関わりながら生きていくことに気づかせ、感謝の心や思いやりの心を持たせる。	体験的な学習を通して、成就感や達成感を持たせ、前向きに努力しようとする姿勢を養う。	家庭生活の充実向上のために、必要な情報を収集しながら計画を立て、実践しようとする姿勢を養う。	家庭生活における課題を解決するために必要な人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する知識と技術を身に付けさせ、自分自身の人生観と生活観を考えさせる。
商業科	ビジネスに関する学習を通して、コミュニケーションの重要性を理解し、職業人としての望ましい人間関係の構築の必要性を理解させる。	ビジネスの意義や役割を学習することで、自分自身の可能性を肯定的に捉えさせ、働くことへの意欲を持たせる。また、法令遵守や説明責任等企業の社会的責任の重要性を理解させ、自己の行動に活かそうとする態度を育てる。	現状を把握するための情報を収集し適切な形に加工する知識・技術を身に付けさせる。さらに、社会に目を向け、よりよい社会にするためには何をすべきかを考える態度を育む。	専門的な学習や上級資格を取得することで、高校での学習と職業を結びつけて考える力やスペシャリストを目指す意欲を醸成させる。
ビジネス実践	①自分と仲間、②自分と学校外（企業など）、③自分たちと自然の3つのつながりを意識した活動を通して、様々な相手とのコミュニケーションをとることによって、適切な人間関係の構築する能力を身に付けさせる。	外部とのつながりの中で、自己理解を深め、社会で自己の特性を活かそうとする意欲を持たせる。	商品開発やイベント企画、環境問題等について探究する中で、課題を発見し改善するための方法を考え実行する積極的な行動力を持った人材を育成する。	ビジネス実践活動を通して、働くことの意義と働くことの喜びを体験し、社会人基礎力を育む。

※「ビジネス実践」は総合的探究の時間の活動を指すものであり、1年：ビジネス実践基礎講座、2～3年：「AKI SHOP」「キッズビジネスタウン」「エコロジカルビジネス」で構成されている。